

令和6年度 第3四半期

退職等年金給付組合積立金 運用状況



目次

- ・ 令和6年度 第3四半期運用実績（概要） P 2
- ・ 令和6年度 第3四半期市場環境（その1） P 3
- ・ 令和6年度 第3四半期市場環境（その2） P 4
- ・ 令和6年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合 P 5
- ・ 令和6年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 6
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 7
- ・ 令和6年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 8
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 9
- ・ 令和6年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額 P 10
- ・ 資産運用に関する専門用語の解説 P 11

令和6年度 第3四半期運用実績（概要）

運用収益額 + 1. 5 4 億円 ※実現収益額
(第3四半期)

運用利回り + 0. 1 4 % ※実現収益率
(第3四半期)

運用資産残高 1, 1 4 0 億円
(第3四半期末)
(簿価ベース)

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和6年度 第3四半期市場環境（その1）

【各市場の動き（令和6年10月～令和6年12月）】

- 国内債券：10年国債利回りは上昇(債券価格は下落)しました。日銀が政策金利の引き上げを見送ったものの、円安および国内物価上昇圧力などを意識した先行きの利上げ観測が維持されたことに加えて、来年度の国債発行増額見通し、及び米大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けた米金利の上昇などを背景に、利回りは上昇基調（債券価格は下落）をたどりました。
- 国内株式：国内株式は上昇しました。期初、景気のソフトランディング期待による米国株の上昇につれて堅調な推移となったものの、半導体関連株の下落による米国株の反落や衆院選を控えて上値が抑制されました。その後、米大統領選結果を受けた円安の進行とトランプ政権における政策への警戒感が交錯する中、期末にかけては、日米金融政策への思惑から一進一退却での推移となりました。
- 外国債券：米国10年国債利回りは上昇(債券価格は下落)しました。FRB(連邦準備制度理事会)が合計50bpの利下げを実施した一方で、米大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けたインフレ圧力や財政悪化懸念に加えて、好調な経済動向を背景にFRBによる利下げペースの鈍化見通しが広がったことから利回りは上昇となりました。
ドイツ10年国債利回りはECB(欧州中央銀行)が連続利下げを行ったものの、根強いインフレ懸念や米国長期金利上昇などから利回りは上昇(債券価格は下落)しました。
- 外国株式：米国株式(NYダウ)は小幅上昇となりました。好調な経済指標が示される中、トランプ氏への政策期待に着目する格好で最高値を更新する場面もありましたが、FRB議長発言による追加利下げ観測の後退やトランプ政権によるインフレ懸念を背景とした米長期金利上昇などから株価は反落しました。
欧州株式(ドイツDAX)はドイツ製造業を中心としたユーロ圏の景気悪化懸念を受けたECB(欧州中央銀行)の利下げ観測や米国株式につられた動きなどを背景に堅調な推移となりました。
- 外国為替：ドル/円はドル高・円安となりました。FRBによる利下げ観測の後退やトランプ政権への思惑などにより米国長期金利が上昇する中、日銀の追加利上げ観測の後退などから、ドル高・円安となりました。
ユーロ/円はユーロ高・円安となりました。ECBによる利下げ観測が維持されていたものの、金融政策決定会合にて日銀総裁が利上げに慎重な姿勢を示したことからユーロ高・円安となりました。

○ ベンチマーク収益率

	令和6年9月末～ 令和6年12月末
<国内債券> NOMURA-BPI総合	▲1.31%
<国内株式> TOPIX(配当込み)	5.43%
<外国債券> FTSE世界国債インデックス (除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)	4.02%
<外国株式> MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	9.05%

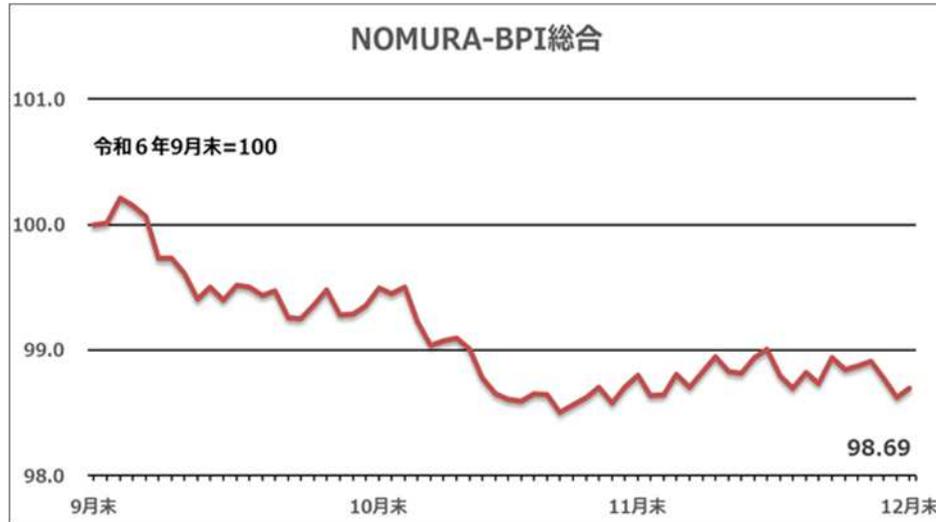
○ 参考指標

		令和6年9月末	令和6年10月末	令和6年11月末	令和6年12月末
国内債券	新発10年国債利回り (%)	0.861	0.952	1.048	1.101
国内株式	TOPIX (ポイント)	2,645.94	2,695.51	2,680.71	2,784.92
	日経平均株価 (円)	37,919.55	39,081.25	38,208.03	39,894.54
外国債券	米国10年国債利回り (%)	3.781	4.284	4.169	4.569
	ドイツ10年国債利回り (%)	2.123	2.390	2.088	2.367
外国株式	NYダウ (ドル)	42,330.15	41,763.46	44,910.65	42,544.22
	ドイツDAX (ポイント)	19,324.93	19,077.54	19,626.45	19,909.14
外国為替	ドル/円 (円)	143.63	152.03	149.77	157.20
	ユーロ/円 (円)	159.94	165.48	158.41	162.78

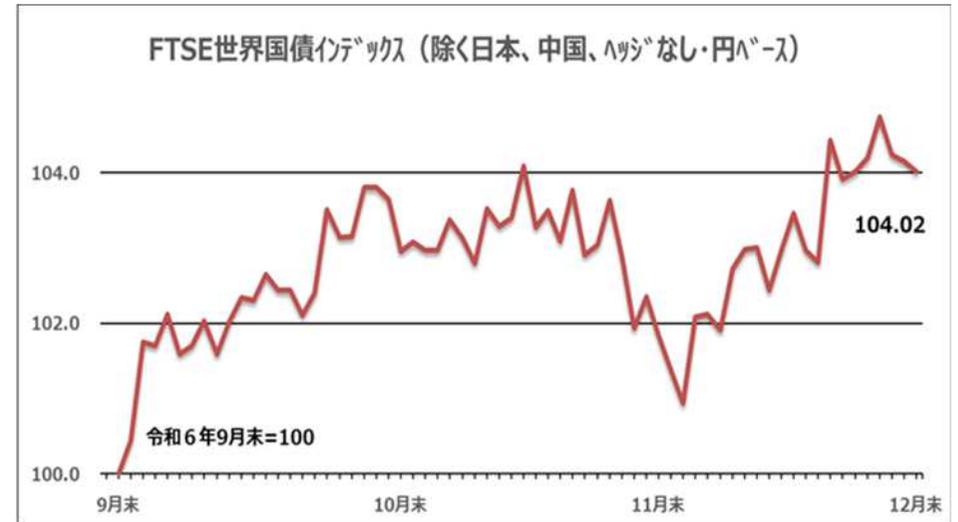
令和6年度 第3四半期市場環境(その2)

ベンチマークインデックスの推移(令和6年度第3四半期) ※令和6年9月末時点の指数を「100」としてグラフ化しています

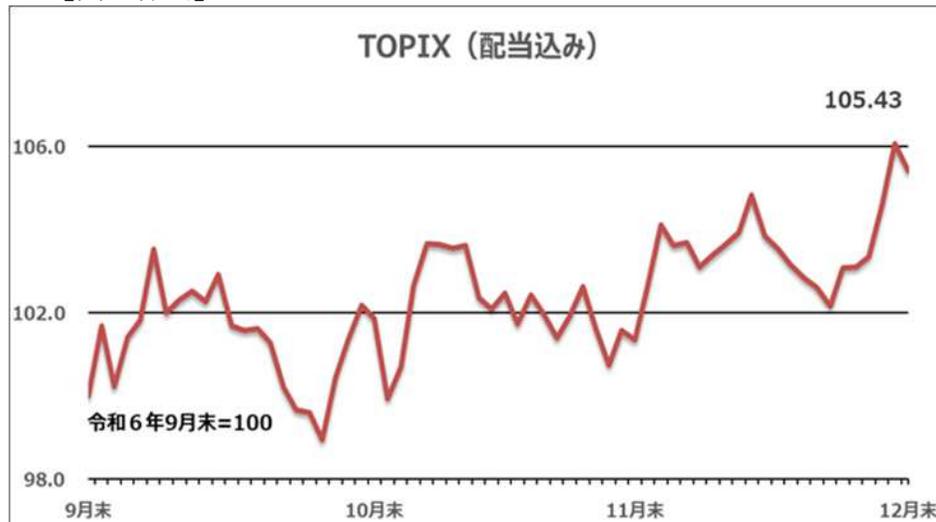
【国内債券】



【外国債券】



【国内株式】



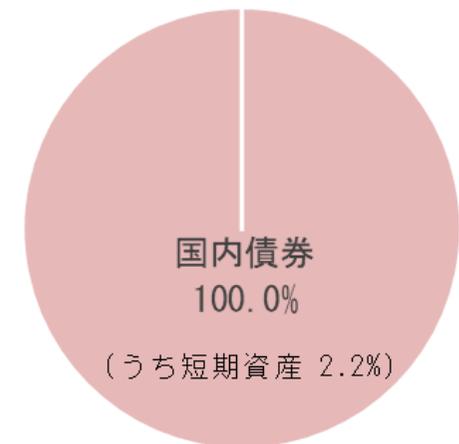
【外国株式】



令和6年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	100.0	100.0	100.0	100.0	—
うち短期資産	(2.3)	(1.9)	(1.1)	(2.2)	—
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—

第3四半期末
運用資産別の構成割合

- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券100%です。
(注2) 資産構成割合は簿価ベースの数値です。
(注3) 記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。
(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

令和6年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

- 令和6年度第3四半期の実現収益率は、0.14%となりました。
 ○退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.12	0.13	0.14	—	0.39
国内債券	0.12	0.13	0.14	—	0.39
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)		(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.69	1.65	▲1.47	—	▲2.48

(注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。

(注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	0.11	0.11	0.12	0.44
国内債券	0.10	0.11	0.11	0.12	0.44
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.79	▲3.32	1.14	▲0.27	▲1.70

令和6年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	1.29	1.42	1.54	—	4.25
国内債券	1.29	1.42	1.54	—	4.25
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲26.72	16.57	▲15.42	—	▲25.56

(注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	0.93	1.03	1.12	1.20	4.28
国内債券	0.93	1.03	1.12	1.20	4.28
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	7.01	▲30.92	10.58	▲2.64	▲15.97

令和6年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額

(単位：億円)

	令和6年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	1,064	985	▲79	1,100	1,035	▲65	1,140	1,059	▲81	—	—	—
うち短期資産	(20)	(20)	(0)	(12)	(12)	(0)	(25)	(25)	(0)	—	—	—
合計	1,064	985	▲79	1,100	1,035	▲65	1,140	1,059	▲81	—	—	—

(単位：億円)

	令和5年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	938	912	▲25	972	914	▲58	1,011	963	▲48	1,036	983	▲53
うち短期資産	(18)	(18)	(0)	(13)	(13)	(0)	(25)	(25)	(0)	(24)	(24)	(0)
合計	938	912	▲25	972	914	▲58	1,011	963	▲48	1,036	983	▲53

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 時価及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考値です。

(注3) 上記数値(令和6年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

資産運用に関する専門用語の解説

- 実現収益額
(計算式)
実現収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)
- 実現収益率
(計算式)
実現収益率 = 実現収益額 ÷ 簿価平均残高
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式)
総合収益額 = 実現収益額 + 評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。総合収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
修正総合収益率 = 総合収益額 / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)
- 格付
債券の信用力や元利金の支払能力の安全性などを総合的に分析してランク付けし、アルファベットなど分かりやすい記号で示されたものです。格付機関が付与します。
一般にBBB格までが投資適格とされ、BB格以下になると信用リスクが高くなるとされています。